



# が ン ば る 自 治 体 職 員 さん



## 府中市が取り組んだ「ごみ改革」

府中市ごみ改革推進本部ごみ減量推進課長補佐 松下民夫

府中市は東京のほぼ中央に位置し、面積は 29.34km<sup>2</sup>、多摩地域では 7 番目の広さの市です。人口は平成 22 年 8 月に 25 万人を超え、増え続けています。居住形態では、共同住宅が全体の 63% を占めています。農地は減少の一途をたどっています。

大国魂神社のくらやみ祭りを筆頭にお祭りが盛んで、市がそれらの演出を担う形態が市政にも反映し、有料化後のごみの減量も組織的に進むという特徴が現れました。



### 改革に至った経緯は

府中市では本年 2 月 2 日から家庭ごみの収集方式を、ダストボックスによるステーション収集方式から戸別収集へと変更し、合わせて有料化を実施しました。

ダストボックスによる収集方式を昭和 41 年から全国に先駆けて行い、最終的には市内に、燃やすごみの緑色のボックスが 8,202 個、燃やさないごみのオレンジ色が 6,695 個、合計 14,897 個のダストボックスが設置されていました。市民の皆さまには長らく親しまれていたことから、ダストボックスを維持しながら、ごみ減量を進めていく方針でさまざまな減量施策に取り組んでいました。

そのころ多摩地域では、ダストボックスを使用していたいくつかの市がこれを廃止し、ごみ有料化を実施して、ごみの減量に確実な成果を上げていました。

府中市では、平成 15 年制定の環境基本計画に 10 年間でごみ 50% 削減が掲げられていることや、平成 19 年に府中市廃棄物減量等推進審議会の答申を受け、具体的にダストボックス廃止、戸別収集、有料化という方針が打ち出されました。

その後、市民の意見を聴く会の開催やアンケートの実施を経て、最終的に平成 21 年 3 月議会において条例改正が承認され、平成 22 年 2 月 2 日からの変更が決定しました。



### 市民への周知は

条例改正を受け、平成 21 年 4 月より市内各駅頭にて市長が先頭に立ちキャンペーンを実施し、また新しいごみの出し方を説明した DVD やビデオ、パンフレット等を用いての住民説明会を約 600 回、スタート直前まで土日返上で実施し、2 万人の参加を得ました。

また、市内約 5,000 戸の集合住宅に対して特別の職員体制を組んで、すべての所有者、管理会社、管理組合に対して接触を行い排出場所の特定、協力を求めました。



## ごみ改革の成果と新たな課題

2月以降、市民の皆さまからは、ダストボックスがなくなって街の雰囲気が変わった、通行しやすくなったとのご意見をいただいております。

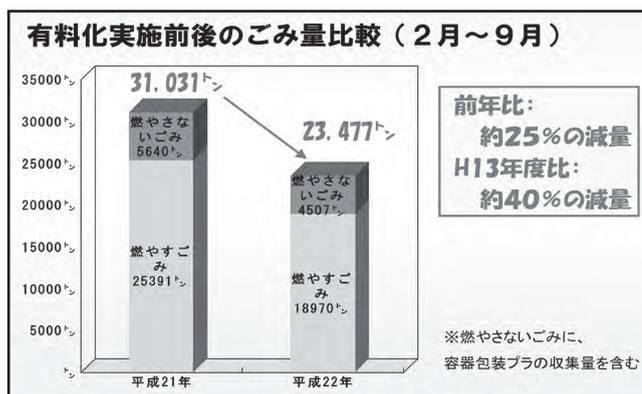
ごみ収集方式変更後のごみ量の状況については、変更後9月までに家庭から出た燃やすごみが1万8970トで、前年と比較して6,421ト、25.3%の減、燃やさないごみが4,507トで、前年と比較して1,133ト、20.1%の減となっています。市民の皆さまのご協力を得て、2月以降前年対比25%前後の減量が進んでいます。

ごみ減量については一定の効果が得られ、市民の間にごみ減量意識や排出者責任が定着しつつあるものと考えております。さて、その一方で新たな課題も見受けられています。

従来、ダストボックス脇に見られた布団、家電製品等の不法投棄は減少したものの、レジ袋に入れられた弁当がらや、ビン、缶、ペットボトルなどが道路上に捨てられ、散乱ごみが見受けられるようになりました。そこで、市では市内に不法投棄防止等対策本部を設置し、道路、公園等を管理する関係各課が連携し防止をしていくシステムを稼動しています。

また、集合住宅において分別や不法投棄に困っている場所が浮き彫りになっています。ごみ減量推進課の清掃指導員が日々現場に出向き、所有者、管理者、住民と接触し、改善策について協議を重ねております。

収集方法変更後の効果



「ごみ改革の成果～更なる高みへ」（府中市ごみ改革推進本部作成）より



## ごみ50%削減、リサイクル日本一を目指せ！

府中市では、平成25年度までに平成13年度比でごみ50%削減、またリサイクル率についても日本一を目標に掲げております。従来からの市民の皆さまの努力や今回のごみ改革で約40%ほどのごみの削減が今年度末で達成できる予定です、今後は更なる啓発活動や減量施策を行い、市民・事業者との協働による循環型社会を目指しております。



## 主な取り組みとして

### \* 生ごみ減量化処理機器の購入費助成

燃やすごみの大半を占める生ごみを減量するため、生ごみ減量化機器の購入費の2分の1（上限5万円）を助成しています。

### \* 資源の集団回収の拡充

地域での資源のリサイクル活動を推進します。

### \* 資源の店頭回収の推進

資源回収の効率化を図るため、市内6か所のスーパーマーケットと協働でペットボトルの自動回収機を設置しています。